

白川浄水場でつくられた水道水を平岸配水池と清田配水池に送り届ける白川第1送水管と白川第2送水管は、昭和40年代から50年代に布設したものであり、経年劣化が進み、耐震性能も不足しています。そのため、これらの更新に備え、送水ルート多重化や耐震化を目的とする白川第3送水管の新設を令和元(2019)年度に完了しました。

今後は、白川第1送水管の更新を進めていきます。

効果

・災害時などでも送水ルートが確保され、水道水を安定的にお届けできます

取組	白川第1送水管の更新									
	● 令和6(2024)年度までに白川第1送水管(延長約11km)の更新工事に着手します。									
年次計画	実 績					計 画				
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	白川第3送水管新設の工事					白川第1送水管更新の調査・検討・設計・工事				
ビジョン後半5年間の予定事業費(2020~2024年度)					12億円					

【図表29】送水管の布設位置図

